

～ 豊かな学びの実現 ～

## 丹原地域の放置竹林の保全活動

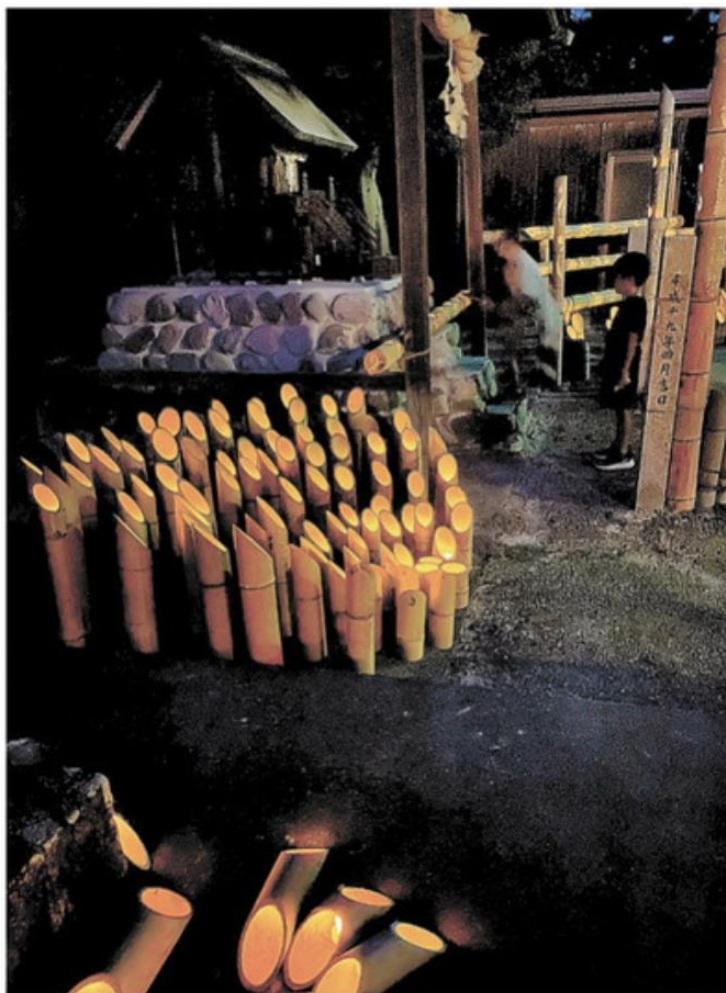
### 竹灯籠で神社彩る

#### 西条 放置林 住民ら活用

西条市丹原町高知の(しの)大はらいで、高知八幡神社で1日夜 同市丹原地域の放置竹あった「夏越(なつこ)林から切り出した竹を

使った灯籠が並び、辺りを優しく照らした。地域の放置竹林対策に取り組む「高知里山を愛する会」(越智賢二代表)が伐採した竹を有効活用しようと

丹原高校の生徒らと灯籠に加工した。



境内を柔らかな光で照らす竹灯籠

越智代表によると、放置竹林は他の樹木の生育を阻むほか、根が浅いため大雨による土砂災害リスクも高い。そんな「山のやっかい者」を地域おこしに役立てる形で、3年目となる今回は500個を超える灯籠が並んだ。家族の健康を願って毎年訪れているという同市丹原町古田のパート青野周子さん(69)は「雰囲気があつてきれい。高校生が地域を盛り上げてくれてありがたい」と話した。

(森岡岳夢)

地域の課題を生徒と地域住民とが共有し、  
協働して解決する取組。  
地域とともにある学校を目指しています。